



藍住町 議会だより

第 120 号

2025(令和7)年2月25日



藍住町議会
ホームページ

(アドレス)

<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



わたしたちの望む藍住町へ ～中学生議会開催～



12月定例会

令和6年度藍住町一般会計補正予算…………… P.2

一般質問 ～町政のここが聞きたい～ …… P.4～9

中学生議会…………… P.10～11

議会のうごき・わたしの一言 …… P.14

12月定例会

12月議会定例会が12月3日から17日までの15日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。
一般質問では6人の議員が登壇し、町政について質問しました。

～町長提案～

● 令和6年度藍住町一般会計補正予算	可	決
● 令和6年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算	可	決
● 令和6年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)補正予算	可	決
● 指定管理者の指定	可	決
● 監査委員選任の同意	塚原	喬氏
● 令和6年度藍住町一般会計補正予算(第6号)	可	決
● 令和6年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算(第2号)	可	決
● 令和6年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)補正予算(第2号)	可	決
● 職員の給与に関する条例の一部改正	可	決

令和6年度一般会計補正予算

**歳入歳出
それぞれ** 1億1,600万円増額

～主な補正の内容～

■ **総務費**

- ◆ 友好都市交流事業…………… 510万円
- ◆ 移住支援事業…………… 400万円

■ **民生費**

- ◆ 後期高齢者医療療養給付費負担金…………… 755万円

(1万円未満四捨五入)

**予算
総額** 132億3,900万円

■ **衛生費**

- ◆ 子どもはぐくみ福祉費…………… 1,001万円

■ **教育費**

- ◆ 東中学校体育館空調機器整備工事設計業務…………… 600万円
- ◆ 教師用教科書購入費…………… 1,100万円
- ◆ 学校給食調理加工費…………… 3,575万円

令和6年度一般会計補正予算(第6号)

**歳入歳出
それぞれ** 5,900万円増額

～補正の内容～

一般職に係る給与等の引き上げ改定に伴うもの

(1万円未満四捨五入)

**予算
総額** 132億9,800万円

監査委員選任に同意



塚原 喬 氏(鳴門市)

任期 令和6年12月25日から令和10年12月24日

令和6年 第3回臨時会

11月19日開催の臨時会において次の議案が上程され、可決しました。

～町長提案～

- 藍住町西クリーンステーション再生可能エネルギー設備等導入事業請負契約の締結………可決
契約金額 9,776万8千円 契約の相手方 四電エナジーサービス株式会社 徳島支店

議会改革調査特別委員会

令和6年12月17日、議会改革調査特別委員会において、聴覚障害者に係る議場傍聴対応について協議しました。

委員長及び委員から、「議場傍聴席にモニターを設置し、聴覚障害者が議会の進行状況を把握できるよう、発言内容がリアルタイムで表示できるような対策をしている上板町議会を視察してはどうか。」「傍聴席に設置されている磁気誘導ループを使用することはできないか。」などの意見が出されました。

協議の結果、まずは、議場傍聴席に設置しているモニターの導入や運用状況などについて、上板町議会へ視察に行くこととなりました。

議会と意見交換を行う団体等を募集しています

広く町民の意見をお聴きし議会活動に反映させていただくため、意見交換会を行う団体等を募集しています。

詳しくは藍住町議会ホームページを御覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎(088)637-3127

詳しくはこちらから→



定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。

次号は5月に発行します。

詳しくは議会事務局まで

お問い合わせ ● 議会事務局 ☎(088)637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政・議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
 - ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
 - ③ 字数は500字以内。
 - ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。
- ※ 郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
議会事務局 E-mail:gikai@aizumi.i-tokushima.jp



栗島 和義 議員
くりしま かずよし



12月議会会議録

救命率の向上へつながる AEDの設置状況について

町有施設における設置台数は、
現在41台

問 本町においてAEDの設置とともに救命処置を講じる際のプライバシーを保護する対応策はとられているのか。

答 特に女性に対する配慮は必要であると考えている。今後、消防署などの意見も伺いながら対応策について検討していきたい。

問 AEDにおける救命処置を講じる際のプライバシーの保護や負傷者の応急手当にも使用することのできる三角巾及びその使用方法が記載されたリーフレットなどをAEDのケース内へ配備すべ

きではないか。

答 使用方法を含めて、先進地の例などを参考に検討していきたい。

問 ホームページや公式ラインなどを活用し詳しいAEDの設置場所を誰もがすぐに確認できるシステムを構築すべきではないか。

答 他の自治体の取組事例を参考に、AED設置場所を素早く確認できる方法を検討していく。



庁舎1階に設置しているAED

情報のバリアフリー化に 向けた取組について

今後もアクセシビリティの向上を図っ
ていきたい

問 視覚障害のある方や文字を読みづらい方への情報の取得・利用に対して現在どのような取組んでいるのか。

答 広報あいずみと議会だよりの記事の音声データを収録したCDを作成し、視覚障害のある

方へ送付する声の広報事業を実施している。

問 本町から町民の皆様へ送付される公的な通知について、音声コードの普及を早急に進めるべきではないか。

答 先進の自治体の取組などを情報収集するとともに、有効な活用方法や、普及促進について調査していきたい。

フューチャー・デザインの 積極的な活用について

問 フューチャー・デザイン手法を取り入れ、持続可能なまちづくりに向けて、具体的かつ効果的な行動計画を策定すべきではないか。

答 現在、次期藍住町総合計画の策定を進めている。

問 まちぐるみでフューチャー・デザイン手法を政策立案に取り入れるための組織を整備し、様々な行政課題の行き詰まりの打開を目指すべきではないか。

答 他の自治体での先進事例などを調査研究し、フューチャー・デザインの手法や、得られる効果を役場組織全体で共有し、職員へフューチャー・デザインの考え方を浸透させていくことがまずは必要であると考えている。



かみなが よしお 議員
紙永 芳夫



12月議会会議録

ヘルメット着用について

今後も着用率向上に努めていきたい

問

道路交通法改正に伴いヘルメット着用が努力義務になり、高齢者の移動手段として自転車を選択する高齢者が増加すると想定されている。ヘルメット購入補助事業の申請状況は。

答

令和5年度の実績は、65歳以上314名、高校生31名、合計345名。本年度は、11月現在で65歳以上41名、高校生7名、合計48名。2年度合わせて、合計393名の方に交付している。

問

16歳から18歳の高校生のヘルメット着用率向上へ向け、何か有効な施策を考えているのか。

答

交通ルール遵守の呼びかけ、自転車用ヘルメット着用推進キャンペーン等を実施した。また、広報あいずみや町ホームページ、エアァイテレビなどで、ヘルメット着用の必要性や補助金制度について、繰り返し周知するとともに、啓発活動を継続している。

防災について

町職員全体の防災士資格取得を推進する

問

今後30年以内に70%から80%までの確率で発生するといわれる南海トラフ地震や中央構造線断層帯などの地震で家屋で倒壊などの大きな被害が想定されている。

災害時には「自助」「共助」「公助」が一体となることで早期の復旧復興につながる。役場職員の防災士資格取得について積極的に取り組んでは。

答

全職員の資格取得を目指し、本年度から計画的に進めている。本年度は5名の職員が取得し、これまでに取得した職員を含め、現在8名の職員が取得しており、そのうち女性職員は1名である。女性職員が防災士として活躍することは、地域の防災力を向上させるだけでなく、女性の視点を取り入れた多様な防災対策を実施するためにも重要と考えている。今後は、町職員全体の防災士資格取得を推進するとともに、特に女性職員がその役割を果たせるような環境づくりに努めていく。

妊婦の歯科検診について

妊婦の健康と生まれてくる子供の健全な発育や発達にも関わり重要である

問

女性が妊娠するとホルモンバランスの変化やつわりによる歯磨き不足等が原因で様々なリスクがあるといわれている。妊婦歯科検診を進めることが出産リスクの減少につながり、少子化対策の一助にもなると考えられている。今後、妊婦の口腔ケアを促進するため、本町でも妊婦歯科検診の取組を加速させるべきだと思つが。

答

妊婦の健康と生まれてくる子供の健全な発育や発達にも関わるため、妊婦歯科検診は大変重要である。そのため、定期的に歯科検診を受けることを推進し、セルフケアにもつなげるため、町として、令和7年度から新たに妊婦を対象とした歯科検診を実施する予定で準備を進めている。





に い じゅんいち
新居 純一 議員



12月議会会議録



投票所について

投票しやすい環境整備が重要である

問 投票所は行政区ごとではなく、自宅近くの投票所にしてほしい。

答 投票区の再編については、十分な調査に基づいた検討が必要であると考えている。なお、行政区分は、要件を満たした場合に新設が可能となっており、投票区の境界部分に新たな行政区分が設定された場合には、投票区を変更することも可能と考える。

教育について

学校、家庭、地域が目標やビジョンを明確にし共有することで、学校ごとの支援活動を効果的に実施することができると考えている

問 高校の学区制見直しについて、どのように考え対策を検討しているのか。

答 今後の流れを注視し、状況に応じてさらに要望を行っていききたい。また、一方でいかなる場合が生じても柔軟に対応できるように子供たちにしっかりした学力をつけていきたい。

問 本町におけるコミュニティ・スクールの現状と今後について。

答 令和5年度に幼稚園を含む全ての町立学校がコミュニティ・スクールとなった。各学校では、年2回から3回の協議会を開催し、委員の方から学校運営に関して意見や助言をいただいている。これまで培ってきた地域との関わりとコミュニティ・スクールを一体的に発展させるために、学校ごとの特色ある取組を進めていく。

問 地域部活への環境整備は進んでいるのか、現在の進捗状況は。

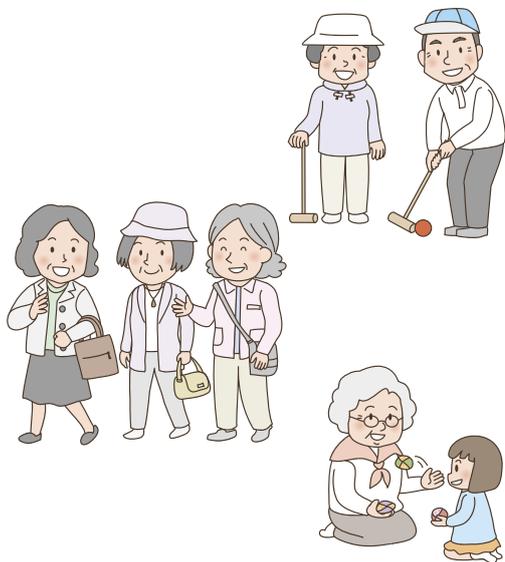
答 令和6年度から、藍住中学校の柔道部と剣道部、藍住東中学校の剣道部において、それぞれ1名、計3名の部活動指導員を任用した。部活動顧問の指導時間もおおむね減少しており、教師の部活への関与について一定の業務改善が図られたと考えられる。また、令和7年度も部活動指導員を増員する予定としている。

高齢者について

可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていけるような取組が重要

問 元気な高齢者を健康優良シニアと認定し表彰する制度を創設しては。

答 現時点では実施するとの回答はできないが、健康寿命の延伸に対する取組の一つとして参考させていただきたい。





おがわ ゆきひで 議員
小川 幸英



12月議会会議録

防災対策について

計画どおりに備蓄を進めていきたい

問 能登半島地震を教訓とした取組について県とともに課題を分析することだが、どのように分析したか。

答 南海トラフ地震対策の抜本的な検証を行うため、県が設置した道路啓開、停電、断水、通信途絶、避難所運営などの各ワーキンググループに参加し今後の災害対策を検討してきた。克服すべき課題は山積しているが、本町の災害対策を進めていきたい。

問 11月9日8時20分ごろ県内11万戸、藍住町1万7800戸が一時停電した。40分くらいと思われるが高齢者や一人住まいの方は何の情報もなく不安だったと聞くが防災無線はなぜ放送しなかったのか。

答 停電の原因や復旧見込みの時間など不確定な要素が多く、電力会社から十分な情報が得られなかったため。

子育て支援について

待機児童対策に今後も取り組んでいきたい

問 令和6年度の途中の待機児童の人数と取組は。

答 11月の待機児童は45名。私立保育所の新設や増設を考えており、現在、整備に向けた準備を進めている。

問 中央保育所の過去5年間の児童数は何人が。

答 別表のとおり。

中央保育所の過去5年間の児童数 (別表)

年度	児童数
令和2年度	203人
令和3年度	124人
令和4年度	79人
令和5年度	57人
令和6年度	58人

※令和2年度～令和5年度は各年度4月1日現在

※令和6年度は11月末現在

問 中央保育所、幼稚園の民間委託は考えているか。

答 現時点では、民間委託は考えていない。

防犯カメラ設置について

既に学校などの各施設において防犯カメラを設置している

問 各施設での防犯カメラの設置数合計108台で主に小中学校の登下校の安全対策として設置していることだが、富吉地区では道の駅や高

速道路に行く裏道として車が増え何か事件が起こらないか心配しているとの声もある。毎日のようにテレビ、新聞等で取り上げられている闇バイト対策、不審者対策として町内の交通量が増えている所に防犯カメラを設置してはどうか。

答 放課後にあわせて通学路への見守り活動や広報車での町内巡視など、子供や青少年に対する防犯活動を強化している。防犯カメラの設置にはコストやプライバシーの問題も伴うため、これらの課題を考慮しつつ、防犯カメラだけに頼らない多角的なアプローチによって、町民の皆様が安心して暮らせる環境づくりに努めていく。

その他の質問

○高齢者対策について



もと き はるか 議員
元木 春香



12月議会会議録

今後の保育士相談体制について

保育現場の声を聞きつつ、改善取組を進めていきたい

問 持ち帰り仕事の定着など保育士の実情や現場に寄り添った根本的な改善を今後どのようにして進めてもらえるか。

答 人材不足解消のための若手保育士サポート体制、助言等を行う保育サポーター制度導入等について調査研究中である。



不登校対策 行政、学校、家庭への連携体制について

活用可能な事業の検証を進めていきたい

問 不登校状態となる児童生徒数とキャロツ子学級在籍数とが乖離状況になる要因は。

答 学校との併用など、個々の状況に応じた通級の仕方があるため。

問 キャロツ子学級に通う高学年児童への自転車通学許可は。

答 安全に対する不安要素を取り除ける状況であれば、個々の状況に応じて協議し、実施を検討できるのではないかと考える。

問 中学校に設置されている校内支援センターの開所日と時間をそろえることはできないか。

答 人的配置が厳しい状況である。

問 小学校への設置は。

答 諸環境の整備が大きな課題になる。

問 他の自治体では出席扱いが認められるフリースクールの本町の考えは。

答 町内の学校ごとに違った判断とならないように、学校と教育委員会が連携を図る必要がある。

問 出席認定を受けるまでに生じた期間の対応は。

答 指導要録上の出席扱いとすることができると判断した場合には、相談、指導を受けた日ま

で遡って出席と判断できると考えている。

問 経験値による対応や公平な情報共有等の懸念において担任の先生ではなく担当者の配置希望があるが対応は。

答 担任だけでなく、学年主任や教頭などチームとして支援に取り組んでいる。

問 県が教育支援センターを設置している自治体に向けオンライン学習を始めたがキャロツ子学級での利用状況は。

答 使用にはオンライン環境が必要でクラウドサービスを利用すると聞いているが、本町の現在の環境は持ち帰りに適しておらず、利用は難しい。

問 来年度以降の導入は。

答 第2期GIGAスクール構想に対応した端末や、利用環境の更新を予定している。

問 とくしま多様な学びプラットフォームが県と協働で様々な経験談を集約した冊子を作成している。限られた数の冊子の配布や情報提供をどのようにするのか。

答 現時点では未定。

問 今後の選択肢の広がりや期待、前へ進むきっかけとなる保護者同士の意見交換会の開催は。

答 2月中旬に保護者会を再開することとして準備を進めている。

問 開催にあたり専門性がある民間団体との連携は。

答 NPO法人予防教育科学アカデミーの鳴門教育大学教授に参加していただく予定。



はやし しげる 議員 林 茂



12月議会会議録

気候変動危機から住民の命を守るために

本町に適した施策を検討する

問 世界中の国が太陽光発電を推進している一番の理由は、地球温暖化対策。町として地球温暖化を阻止するためにも重点施策として、①太陽光発電設備に対する補助金、②電気自動車購入に対する補助金、③蓄電池補助金の事業を行う事業者を募集し登録してもらうことで、地元業者の仕事を増やすことにつながる。実施してほしい。

答 ①個人や企業が利点や問題点を総合的に踏まえた上で導入されるものと考えており、現時点において導入は考えていない。②今後の情勢や技術革新を注視し、必要に応じた検討を進めていきたい。③現時点では導入を見送る方針である。

藍住町敬老祝い金について

75歳以上99歳以下の高齢者へあいずみ商品券を贈呈

問 敬老祝い金の誤送した案内のおわびで、対象者全員に速達費用147万8千円使う役場の皆さんの仕事量が町民の怒りがあった。敬老祝い金支給の対象者数と費用額は、受け取った人数と、受け取っていない人数は、まだ受け取っていない人については、その理由は、

答 今年度の対象者は4456人、商品券発行額は1336万8000円。12月1日現在、4387人にお受け取りをいただいた。お受け取りをされていないのは69人で、不在のため福祉課で保管中のものや、宛所なしで返却され所在調査をしたが回答のなかったもの等である。

問 来年度敬老祝い金を増額してほしい。

答 藍住町福祉に関する条例で定められているため、増額するには、条例改正から始めなければならぬ。

その他の質問

○帯状ほう疹のワクチン接種費用を助成

南海トラフ地震に備えて

まずは、木造住宅耐震改修支援事業に注力し、耐震化を図っていきたい

問 能登半島地震災害の実態から教訓を学ぶことが重要であり、災害が起きてからでは遅すぎる。事前の対策・公共投資が必要である。町は、町民の経済的な負担を軽減する施策として、①耐震診断費用3000円無料化。②耐震支援改修支援事業の工事費上乘せ額の増額。③家具転倒防止の取付けを無料化すること。④住宅リフォームの助成事業の創設などを実施すること。

答 ①無料そのものが必ずしも耐震化推進のインセンティブになっているとは認識していない。②9月定例会において事業1件当たりの補助金額を倍額の200万円とする補正予算を議決いただいている。③引き続き、周知啓発などこれまでの方針を継続して進めていきたい。④現在のところ、予定はしていない。



議会

藍住町議会議事堂議場において中学生議会が
含む7名、藍住中学校からは副議長を務めた
員として一般質問を行いました。

議長



藍住東中学校
ひがしめい
東 芽以

私は、今回の中学生議会が初めての参加となりました。そんな中、議長という大役を務めさせていただくとに大きな不安や緊張が隠しきれませんでした。

しかし、議会の雰囲気を知ることができたり、大人の方々に囲まれて議会を進行していく責任感を感じることができたりと貴重な経験をさせていただいたと思っています。

生徒会長としての最後の大きな仕事を無事果たすことができてよかったです。

藍住東中学校
たながみ けいすけ
棚上 敬介



問 小中学校の改修について。

答 安全管理上、至急修繕が必要な場合は緊急対応を行う。配分される予算の中で事業に優先順位をつけ、計画的に改修や補修を行い、安心して安全な学校生活が送れるようにこれからも努めていく。

藍住東中学校
たなか しょう
田中 翔



問 桜つつみ公園のバーベキュー会場の利用状況について教えてほしい。

答 7月20日にオープンして以来、4か月が経過し、これまでに70組、634名の方々に御利用いただいている。様々なグループでのコミユニケーションツールとして、お気軽に御利用いただきたい。

藍住東中学校
ひらた すいさ
平田 粹彩



問 町として集めている税金の種類は。また、どのような用途に使われているのか教えてほしい。

答 町民税、固定資産税、軽自動車税種別割、たばこ税、国民健康保険税。令和5年度の主な使い方は、社会福祉、障害者、高齢者、児童福祉などの民生費、行政の管理、税金、戸籍、選挙などにかかる総務費、小中学校や社会教育などの教育費、保健衛生、ごみ、し尿などの衛生費。

藍住東中学校
おおにし ちなり
大西 千愛



問 体育館へエアコンを設置してほしい。

答 学校活動や社会活動の時の避難所として、エアコンの設置に向けた協議を関係部署と連携して進めていきたいと考えている。

藍住東中学校
しみず ひろと
清水 裕斗



問 藍住町の特産品などのPRをどのようにしているのか教えてほしい。

答 現在、藍住町全体の魅力を凝縮したプロモーション動画の作成を進めている。完成後は、インターネットやメディアなど様々な媒体のほか、各種プロモーションの機器を通じて積極的に発信したい。

藍住東中学校
なかにし みづき
中西 美月



問 藍住町で大きな災害があったときの対応をどのようにしていくのか教えてほしい。

答 必要な設備品の整備や各種災害協定を民間事業者や自治体と締結するなどしている。他の自治体の事例や町民の意見などを参考に災害に強いまちづくりを一層努めていく。

中学生

11月19日、若者の政治への関心を高めるため、開催されました。

藍住東中学校からは議長を務めた東芽以さんを川口結羽さんを含む7名が参加し、うち12名が質問及び答弁については次のとおりです。

藍住中学校
かわぐち ゆう
川口 結羽



副議長

私は、今回の中学生議会での意見を言う大切さを知ることができました。また、昨年は議員としての参加でしたが、今年は副議長として議長のサポートをしながら進行を務めさせていただきました。意見を出すことで、私たち自身の手で藍住町をもっと過ごしやすい町にしていける可能性を感じることができました。今回の議会を通して、現在の藍住町について生徒会で話し合いをしていく中で、まずは多くの人に藍住町が行っている取り組みについて知ってもらい、さらに興味を持ってもらうことが大切だと思います。

藍住中学校
おおつか ゆめ
大塚 結姫



問 中学生までの医療費の無償化を行ってほしい。
答 実施するとすれば、さらに約2400万円余りの町予算が必要。様々な子育て支援とのバランスや安定した制度を継続的に行っていくためには、現時点での実施は難しいと考える。

藍住中学校
あかし ひめか
明石 妃加



問 自動車のスピードを抑制するための対策を教えてください。
答 令和5年度は一灯点滅式信号機2か所が撤去された。それぞれ、交差点を赤いラインで四角く囲ったり、止まれる文字を赤いラインで囲うなどの法定外表示を使用し、自動車運転者へ注意喚起と安全運転を促している。

藍住中学校
なかがみ らいと
中上 輝斗



問 道端へのポイ捨てについての具体的な対策を教えてください。
答 ポイ捨てを防止するため積極的に設置していただくよう呼びかけをしている。また、町内一斉清掃の参加者に補助金を交付するなど環境美化活動が促進されるような取組を進めている。

藍住中学校
しみず いぶき
清水 伊吹



問 中学生までのインフルエオンザワクチンの一部助成をしてほしい。
答 中学生までのインフルエオンザワクチン接種は任意接種に当たり、予防接種法に基づかないため、現在町では、費用の助成はしていない。まずは、予防接種法で決められている定期接種の接種向上に努めたい。

藍住中学校
さかき なな
榊 菜奈



問 藍師や藍染め職人が減少していることについて、どのように考えているのか。
答 隊員の皆さんが藍住町で薬づくりの担い手に、また、作家や事業者として自立できるように支援を継続するとともに、町民、関係団体と連携をしながら、藍のある町、藍住町の確立に向けた取組を進めていきたい。

藍住中学校
ながき はゆま
長木 映磨



問 タブレットの持ち帰りについて今後どのように考えているのか教えてください。
答 整備から5年を迎える来年度、新しいタブレットの買い換えと同時に、持ち帰りに対応した方式に変更することを検討していく。

先進地視察研修報告

柳川市、五島市

奥村晴明(代表)・佐野慶一・森 志郎

本町人口ビジョン2020によると、総人口は2030年をピークに以後は減少に転じると見込まれています。また、令和5年徳島県人口移動調査年報によると、本町の人口動態は自然動態・社会動態ともに減少しています。人口減少は地域社会の縮小につながる問題であり、その対策は急務です。そこで、私たちは、視察テーマを「地域づくり」とし、10月28日から30日までの日程で、福岡県柳川市では、ウォーカーブル推進都市(ウォーカーブルなまちづくりの取組)について、また、長崎県五島市では、Uターン促進事業及びまちづくり協議会について視察を実施しました。

柳川市では、人口減少への対応と地域の特性を生かしたまちづくりを目標に、都市計画マスタープランにおいて市の将来像を「水と人とまちが美しい 水郷柳川」と設定し、体制づくりの原則に「協働」を掲げています。市民、コミュニティ団体、事業者、行政のすべてがプランを実現する主体としての意識を持ち、居心地が良く歩きたくなる、ウォーカーブルなまちづくりを目指し、それぞれの役割を持って取り組んでいます。

五島市では、第2期五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略において、市の人口対策により、2060年の推計人口、約1万人の倍、約2万人を

確保するとの目標を立てています。Uターン促進事業では、補助制度等の実施により、移住者を5年間で約1000人受け入れています。また、市内13地区に「まちづくり協議会」を設置し、一律・一斉・公平な行政サービスだけでは解決できない地域課題を、地域住民が自主的に主体的に考え、実践することを後押ししています。

県下の町村の中で一番の人口を擁する本町においても人口減少の波は押し寄せています。その波から住民の営みを守るためには、「住み続けたい」、「住んでみたい」、「戻りたい」と誰もが思える、全世代・全員参加型の地域づくりが重要であると感じました。この視察で学んだ事例を本町の課題解決に生かしてまいりたいと思います。



東海村、大洗町

前田晃良(代表)・栗島和義・紙永芳夫
竹内君彦・永浜浩幸・森 伸二・米本義博

令和6年10月29日から10月30日までの2日間、茨城県東海村および大洗町において行政視察を行いました。藍住町からは議員7名が参加して参りました。

1日目東海村での視察においては、「デマンドタクシー」あいのりくんの運営状況及びその効果について、視察を行いました。導入については、高齢者や交通弱者の交通の利便性を図ることを目的とし、平成9年7月から平成18年1月まで運賃無料の福祉循環バスを走らせていたが、利用者が少なく住民からの声を取り入れ、様々な対応策を講じたが利用者の増加につながらなかったため、輸送能力に比べて低迷傾向にあったことなどを勘案しデマンドタクシーに切替えた経緯があり、平成18年4月に地域公共交通を支える移動手段の一つとして導入されました。タクシー車両を使う「デマンド方式」による乗合い型の村内移動サービスであり、村内に住民登録がある方は、どなたでも登録することができる「ドアtoドア」の送迎サービスであり、今後はAI配車システムの導入や運転手の確保・サービスの周知活動を強化し、さらなる利用促進を図る必要があるとの説明でした。

2日目大洗町での視察については、「ふるさと納税」の取組について、視察を行いました。大洗町では、ふるさと納税の寄付額が、令和5年度、14億円という事や、町長が目標として、30億円としていることもあり非常にふるさと納税に力を入れている町です。



中でも一番興味のひかれた内容として、返礼品数の拡充において、事業者を個別訪問し、ふるさと納税の説明と協力依頼や事業者の負担軽減に取り組み、配送スキームの簡略化、書類作成業務の軽減を職員で取り組んだことや事業者への返礼品の提案、ラインナップの提案。数量違いや、セット品、定期便等の提案を積極的にこなしていることです。また、藍住町でも返礼品を増やす事が出来るのではないかと、担当の方の地場産品基準にそった提案もしていただき、サイトの写真などの見せ方についても、大変貴重な御意見をいただきました。

今回の視察を終えて、様々な知識やヒントを得ることができた視察でした。しかし、「公共交通」と「ふるさと納税」のどちらにおいても、まだまだより良い政策提言や議員活動につながるために、これからも研究を続けて参ります。

私たち5名は、昨年11月13日から2泊3日の日程で北海道登別市・森町・函館市を視察して参りました。

1日目に訪れた登別市は、全国で最も議会改革が進んでいる自治体の一つです。多くの自治体と同じく少子高齢化・人口減少の問題を抱える中で、行政と民間が協働して市内の課題を議会運営に反映する工夫をし、また議会活動を住民に可視化できるよう取り組むなど積極的に住民目線での改革を実践しているのとことでありました。

2日目は、森町に伺いました。農業と漁業が基幹産業の「いかめし」発祥の地といわれる町です。地域公共交通バス「もりつくる」と移住体験事業の視察を目的として訪問いたしました。

「もりつくる」は10人乗りワゴン車で、住民の足を確保すべく町が運転業務を民間事業者に委託して低い利用料で運行されています。

また、移住体験事業は、町が外部の方を対象に体験施設を用意して現地での生活を実際に経験してもらい移住促進を図るというものでした。

3日目の函館市では、函館市地域交流まちづくりセンターと同市議会を訪問しました。

函館市では、移住・定住の促進を行い人口減に歯止めをかけるためにまちづくりセンターが必要な支援をし、各種活動を行う場所や必要な情報を提供するなど

市民を援助する拠点となっているそうです。また、複数の団体をコーディネートするといった取組も行っているとのことでした。市が将来を見据えつつ現在の市民の活動を前向きにバックアップしていますが、こうした事情からか、市議会の予算決算委員会においては、審議にも相当の時間がかけられていたことが印象的でした。

以上のことから現在の藍住町・町議会が学ぶべきことは多々あると感じています。

私たち議員は、今後とも町民の皆様がより住みやすい町の実現を目指して尽力する次第ですので、何卒御指導のほどよろしくお願いいたします。



藍住町議会夏休み絵画コンクール表彰式

12月23日、藍住町議会議事堂議場において藍住町議会夏休み絵画コンクールの表彰式を行いました。

御応募いただいた168点の中から選ばれた最優秀賞、優秀賞、入賞の受賞者8名に御出席いただき、議長が賞状と副賞を贈呈しました。

また、8名の受賞者から、それぞれが考える「未来の藍住町」への言葉が発表され、大きな拍手が起こりました。



わたしの一言

勝瑞 藤岡 孝文 氏

～コラボしてウォーキングを！～

私は「あさん歩こう会」というウォーキンググループで活動しています。

ウォーキングの効能は、認知症予防、視力改善、高血圧予防、肺換気量の増加などが挙げられています。ウォーキングは健康のために何かしたい方が、どこでも、年齢に関係なく行える手軽な運動です。そして、大勢で歩くと、会話を楽しみ、新しく友達を作ることでもあります。すなわち、フレイル予防の3本柱、栄養・運動・社会参加のうち、運動と社会参加の両面に効果的です。

これまでに「あさん歩こう会」は、藍住町フレイルサポーターの方々とは2回、コラボというスタイルで町内をウォーキングしました。天気も良く、とても爽快な気持ちになりました。

そこでコラボの相手を広げることで、いろいろなイベントとウォーキングを絡ませ、大勢の方に御参加を頂き、輪を広げ、藍住町内を歩き、藍住町を再発見してみたい方が、どこでも、年齢に関係なく行える手軽な運動です。そして、大勢で歩くと、会話を楽しみ、新しく友達を作ることでもあります。すなわち、フレイル予防の3本柱、栄養・運動・社会参加のうち、運動と社会参加の両面に効果的です。

また、「あさん歩こう会」では年に8回程度ウォーキング大会を藍住町内と近辺で開催しています。御興味のある方の御参加をお待ちしております。



議会のうごき

11月

- 2日 第36回藍住町身体障がい者ふれあい大会
- 7日 板野郡町議会議員研修会 (上板町)
- 8日 藍住町議会広報特別委員会
▼119号の校正について
- 9日 福祉・健康づくりの町フェスティバル
- 11日 藍住町戦没者追悼式
板野郡町議会議長会定例会
- 13日～14日 町村議会議長会全国大会・議長研修 (東京都)
令和6年第3回臨時会
中学生議会 p10 p11
- 27日 議会運営委員会
▼令和6年第4回藍住町議会定例会の日程等について
- 3日 議会運営委員会
▼一般質問の通告について
- 5日 12月議会定例会開会
議会全員協議会
- 6日 指定管理者の指定について
▼(仮称)藍住町世代間交流施設整備事業基本計画(案)について
- 12日 藍住町人権フェスティバル
第44回藍翠苑祭
議会運営委員会
▼付議事件の追加について

12月

1月

- 17日 12月議会定例会閉会
議会改革調査特別委員会
▼聴覚障害者に係る議場傍聴対応について
- 23日 藍住町議会夏休み絵画コンクール表彰式 p13
- 25日 板野東部消防組合議会臨時会 (北島町)
- 10日 藍住町議会広報特別委員会
▼120号の作成について
- 12日 藍住町二十歳のつどい
板野東部消防組合消防出初式 (北島町)
- 17日 鳴門市正副議長就任挨拶
令和6年度第3回市町村長等・議会議員特別セミナー (滋賀県)
- 23日 議会改革調査特別委員会
行政視察 (上板町)
- 24日 藍住町商工会新年互礼会



議会改革調査特別委員会行政視察(上板町)

編集後記

昨年2月に、私を含め3人の新人議員が誕生し、早くも1年が経ちました。これまで、3人全員が、定例会で一般質問を行い、私も少しずつではありますが、議員として成長してきたのではないかと思っています。

これからも、町民の皆様への負託に応えられるよう議員一同研鑽に努めてまいりますので、定例会の傍聴等議場に足を運んでいただけたら幸いです。

新居 純一

藍住町議会広報特別委員会

- 委員長 竹内 君彦
- 委員 元木 春香
- 委員 栗島 和義
- 委員 新居 純一
- 委員 前田 晃良
- 委員 宮本 影子